

公民館たより

42年7月

公民館主催

★一回放談会抄録

六月十八日夜 公民館役員と地区有志の方々と放談会を行った。出席者は全部で十四名でなごやかな中にも活発な意見が出て大変有意義だった。次にその内容を以て集録して地区の皆様へ。これから我々の進むべき道を考える一つの材料として頂きたい。又今後の公民館のあり方の参考としたい。

◎今晚は何でもざつとくばらんに話してほしい。公民館活動がともすればマンネリ化し現況を打破して進む道もみつからない。自分自身の姿さえ分らなくなった現状に、何か活を入れたい。近頃は世情がめまぐるしく変化しており、公害が各地で発生している。その反面良き

いさだから継続して欲しい。但しこの運動が始められた昭和三十年代とは物資も豊かになり事情が異なって来ている。各人の常識にある程をかため、ケースバイケースで考えていけばよい。

◎賛成だ。この運動はすべてが派手になり個人中心にならばなる程。歯止めと云うか反省の材料を提供する意味で続けていってほしい。

◎ではこの問題は、水位にして次は由良の現在及び将来についていろいろ話し合ってみよう。

(城島掘削の問題)

◎騒音公害で困っている。商売価値のある砂利は三割余で他の七割余りは川へ捨てたため泥とばって海岸にたまり海を汚している。

◎ダンクの落とす土砂や泥で道路が汚れて困る。由良海岸の浸蝕問題やその他の事も住民の力で解決するよう努力すべきだ。

(由良川の汚染について)

◎ノーカーボン紙も再生してチリ紙にしてい

につけ悪きにつけ物事すべてが公害の二喜で片付けられる現状だ。

又農振法、新都市計画法、それにともなう由良地区を将来市街地区域にすべきかそれとも市街化調整区域にすべきか等々非常に大きな問題を包含している。それらの即立場から由良地区の望まし、未来像を語り合ってみよう。

◎夢を語り合おう例えは老人問題でも「医者より肉屋へ掛え」の言葉のように医療費の無料化も結構だが更に由良地区に給食センターを作って老人のために理想の食事を供給することが出来まいだろうか。

◎新生活運動の申し合わせ事項の中、見舞返しの全廃、仏事の簡素化はもう意味がなくなつたのではないか。

◎実際さうだ。現在ではすべてが派手になつており見舞返しや仏事だけを規制しても意味がない。

◎確かにさうだがやはり規制と云うか歯止めが必要で折角ここまで来て一応の成果が上つて

る。この中のPCBが流出しているが、由良川の臭は大丈夫だろうか。

◎長田野工業団地が出来つつあるが由良川に對する影響はどうか。

◎由良川でのんびり釣りが出来るといつまでだろうか。

◎由良川の水は舞庭市の水道水になつていくのだが、舞庭市の方が由良より深刻だろうか。

(由良地区の下水問題)

◎側溝は道路の排水用だから下水を流すものではない、下水は別に考えるべきだ」と云うのが土木工場の見解だ。

◎下水の問題は早急に考えなければ深刻だ。水洗便所にしてもその他の害のないものを流しても問題になるのだから由良川までの完全な下水も考えるべきだ。

(公害について)

◎役所や企業は先の事まで考えない。我々の生活は我々自身で考えなければ、どんな被害とこうむるか分らない。我々自身勉むべきだ。我々住民自身が公害の元凶ではないか、ごみ

にしても過大包装の品物の方を遠く我々に責任がある

○観光公害をどう考えるか、自分達でその方何へ持って行っておきながら後で文句を言っている。先の事も考えてやれ

(由良地区は将来観光地で行くべきか、バットタウンで行くべきか)

○由良は環境としては最高だ。この良さを都会の人にも分け与えるべきだ。その為にはこの環境も破壊すべきでない

○国民宿舎は研修所跡に建設される事に決ったそうだが、あの場所では由良の祭典用弁といふ意味では芳しくない。唯だ中央公民館を併設せんがたのみにあつた土地に決定されたのではないか

○中央公民館の建設は別に考えるべきだ、その為の経費は地区民に協力をお願いかけるべきだ。そして国民宿舎は由良岳の中腹にでも建設し由良岳の弁弁とばかるべきだ

○国民宿舎は予定通り研修所跡に建設し、
○観光公害を観光公害と批判する人が多い

がこ水は夏期に民宿なり旅館で利益を上げ、人に對して「おたみ」の現れだ、自分達も観光も利用してそれ以上の収入を上げる事を考えるべきだ

○話は尽きないが、最後のしめくりとして各人が由良の将来をどのよつにすればよいとおたみか申かせて欲しい

○自分自身がこの世に生を受けた人間としての自分が一番守るべきものであると云う事から、人間の価値の尊重を第一に考えれば他人に迷惑をかけるないよう努めねばならぬ事は明白だ。公民館活動も馬鹿げた事と思わず努力して欲しい

○公民館運動は池の中の大魚を知らずにならぬ、よつ年一回位は他地方の見学をやるべきだ。そして由良地区を見なおす必要がある

○観光面でも山と川と海を生かすことを考え、海水と釜温泉にするとか、ミカンも観光面の利用を考へるなど、自己の再発見に勉めるべきだ

○由良の将来は軽々しく決めるべきでない、過去を振り返って現実をよくみつめ、宮津地区の動き、京都府の動きと日本の動きと勘

らうしい環境と、うつくしい空気を味あわす方がよい

○よい空気とよい環境だけでは由良の人々は食べて行けない、特に農業だけでは不可能な将来子供達が由良へ帰って百姓をする事は望めない、それならば売れる田畑山林を売って気楽に過したい、と云う人が多かろう

○いや将来必ず食糧が不足する、現状をみれば自然を破壊すべきでない、特に今回の線引きの問題は由良にとって必要だ

○確かに由良の現状はさぐれぬ、この線引きは百姓一不をやつていくにはよい兵もあつたが観光と農業両面をやつていくのには困つた問題だ

○由良はあくまでも観光と会社勤め(研修へバットタウン)の両面で行くべきだ、そして片手間に百姓という方向で行くのかよい、○生活の豊かさが第一だが、それには少々の公害はあつても収入の多、所が最高だ、自然の美しさだけでは食べて行けない

○夏の物価高を観光公害と批判する人が多い

○生活も豊かになつたのだから公民館で遊ぶことの音頭をとつて欲しい、望ましいレジャー

○を考へよう、由良の農業は観光農業で行くべきだ、米作は他の地方にまかせ観光に直接した農業をやるべきだ

○国民宿舎の誘致には積極的に取り組むべきだ、由良の将来は現時点では観光地よりむしろバットタウンとして伸ぶべきだ、農振法、新都市法には地区として反対すべきであらう、實現不可能でも意志表示すべきだ

○生活も豊かになつたのだから公民館で遊ぶことの音頭をとつて欲しい、望ましいレジャー

○を考へよう、由良の農業は観光農業で行くべきだ、米作は他の地方にまかせ観光に直接した農業をやるべきだ

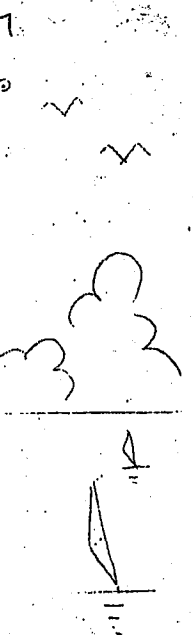
の我々労働者には健康が第一だ。その様な環境を残すべし。現在の経済成長はいつまで続くか分らない。逆三角形の世相、家庭生活だと思ふ。身近な所からしっかり基盤を作って、どんな事態が来てもくずれない生き方をしたい。由良地区は恵まれ過ぎていて各人がバラバラだ。もっと団結して土地利も資本家に渡さず、地区民でやり開発すべきだ。土が我々の生活の基礎だ。これを如何に利用するかで由良の将来が決定する。資本家に渡せばその代償として秋々には公害とみじめさだけが残る。しっかりして基盤を作れば子供達もやがては由良に帰って来る。

◎由良川を見つめてみよう。農業のためか川エビが消滅した。長野野工業団地の建設による汚染が心配だ。常に我々の生活に密着した由良川の監視とすべきだ。
◎由良は民権と一かんと酪農とで行くべきだ。民権は婦人が専断でやっている現状だ。これ以上上げても婦人の負担が増すばかりだし、労働力も無いので、この程度に止めおろく。

様が、廟傘に公言はつきました。生活向上のためには多量に公言は辛抱しなければいけません。理論もあるが私は反めた。

以上が出席者の意見の要約である。考え方は違ってもそれぞ由良地区に対する愛情には変わりなく、こゝに恵まれた自然をいっまでも大切に残すべきだとの意見が強かった。

我々は今後益々話し合ひ、意見をだし合ひ、自分達の生活をより未来への道を切り開いて行く努力を続けよう。みんなの幸せをみんなので考えよう。(文責 公民館文化部)



「お母さんサークル」の会に入会して「主婦」
毎年一月、二月頃になるとかぜをひいたりいろいろとくだくだいって三日寝込んでしまう。二、三年はまたそれが無い。別にかぜをひくのを待っているわけではないが、でもかぜ

みかんは石浦地区にまかせると酪農は由良岳の麓をレンゲ畑とし、休耕して田畑に牧草を作り、糞尿はメタンガスにして全戸に配る。その中の畑では換金作物を作り大きな組合を作って集荷販売を全員が力を合せてやる。酪農には夢があり労働力も少しですむから若い人達も集って来る。この三本柱で進むとよい。

◎出来るだけ現在の由良の自然を破壊したくない。現状で置いておく方が将来価値が生まれる。
◎由良を資本家に渡して開発するのは反対だ。現在のままでも由良は我々の力で徐々に進歩する。今のままで自然を残すべきだ。
◎由良は観光と住宅地としてこのままで行くべきだ。このままの姿こそ誇れるものになる。自

◎由良の人前には人情味が無い、自分より他人に対する思いやりに欠けている。それか観光やその他の面に現われているのではなか。石浦地区にも企業が土地買収に動いている。

とひいて寝るとかマスクもかけた人を見かけた。こんなことではかぜをひかなくな原因がどうかわからないが、スポーツサークルに入った事かな？

サークルと云えば色々の部があります。私はバレエ部に入っています。私達主婦は常に運動不足になりがち。週一回のこの運動はとても役に立っている様だ。たとえは肩のこりな人も直るような気がする。

この運動もしている時間は何もかも忘れて頭のてっぺんから足の先まで、しかもかくおもしろい。きりあはれまわり笑うみんなの顔は汗でびびかに光って美しく見える。とても楽しい。学生時代を思い出す。こんな時はみんな同級生だ。又もう一ついい思い出がある。休憩の時、色々な話かできて私達勤めていた。春は人と接する事が少ないのでこれも一つの楽しみになって、います。今は主人も子供達もお母さんサークルの日やで、早くいかんとかよくなるぞと云ってくれる。二人を時、ああ健康でよかったな、と思う。